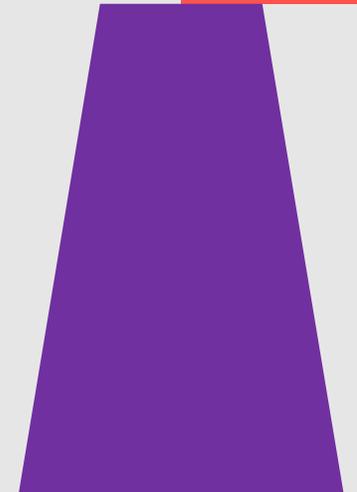
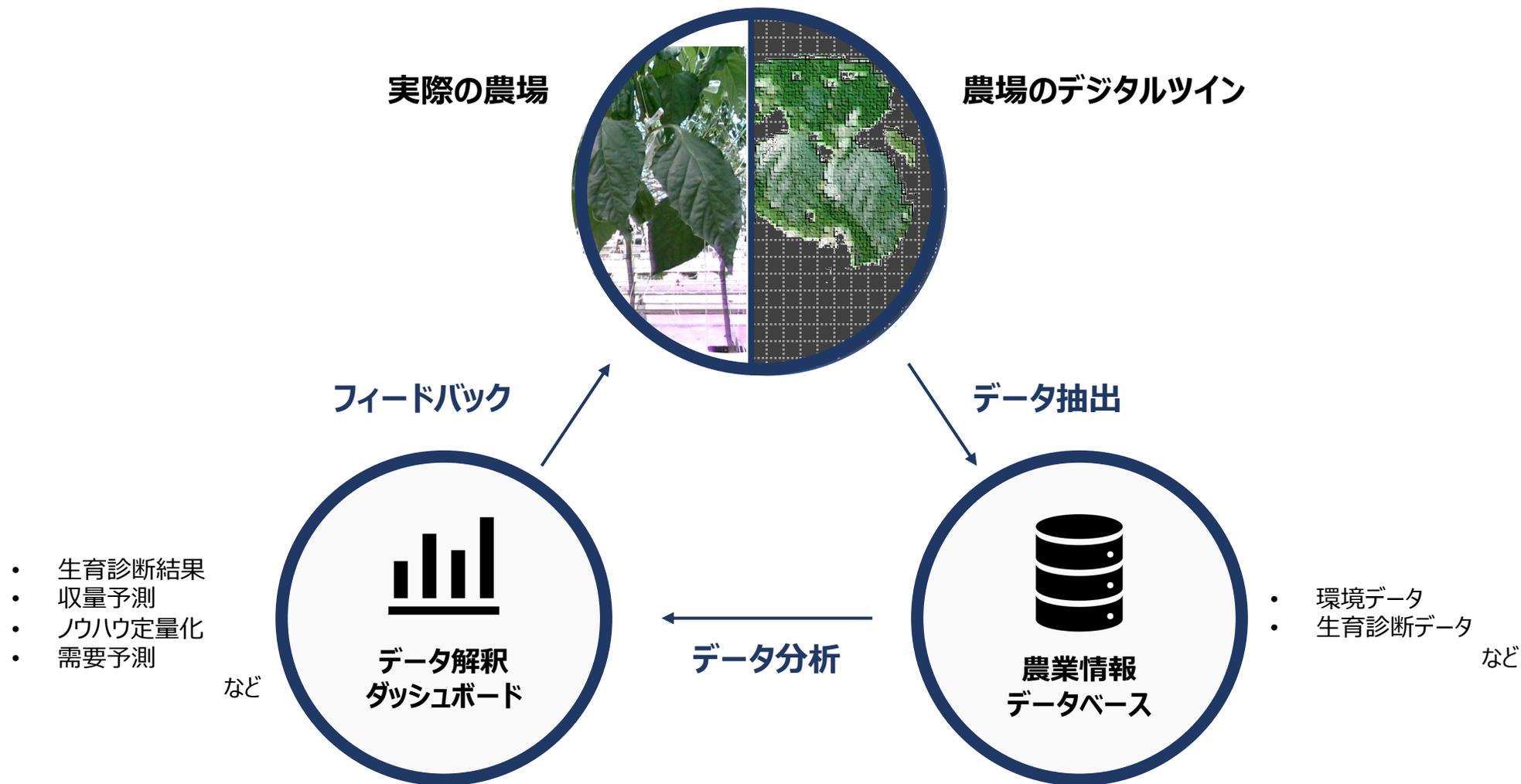


# きゅうりトマトなすび 会社概要資料





データ駆動型デジタルツイン農業によって高品質な農作物が安定して供給される





勘と経験による栽培管理・収穫予測からデジタルツインを用いた高精度な生育診断と収穫予測へ

生育診断

収穫量予測

現状

勘と経験による栽培管理



「全体的に成長がはやいことから、少し多めに葉かきをして、温度も少しあげておこう」

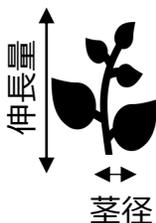
需給に関係なく適宜出荷



「例年通りであれば、大体これくらい取れそう」  
「収穫適期のものを順番に収穫していこう」

理想

生育診断に基づいた栽培管理作業により、収穫量を安定化できる



- 茎径が先週に比べてxxである
  - 伸長量が先週に比べてyyである
- ↓
- 温度をn度あげたほうが良い
  - 葉かきの高さをmセンチあげたほうが良い

収穫予測により出荷時期を調整し、より良い契約条件を獲得できる



- 正確な収穫予測により、大口顧客への交渉力UP
- 逆に過剰に収穫しないよう制御し、収益を最大化



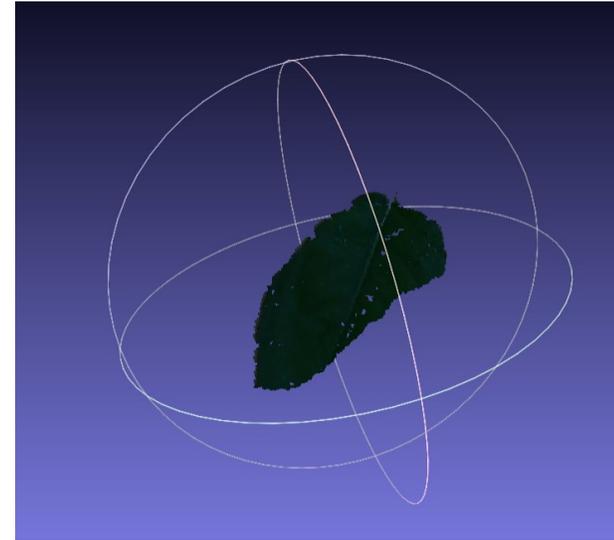
温室全体を3Dスキャンし解析することで高精度な生育診断パラメータの取得が可能

### 例1) 花や実の検出



花や実の位置を検出し、  
着花数・着実数の数値化が可能

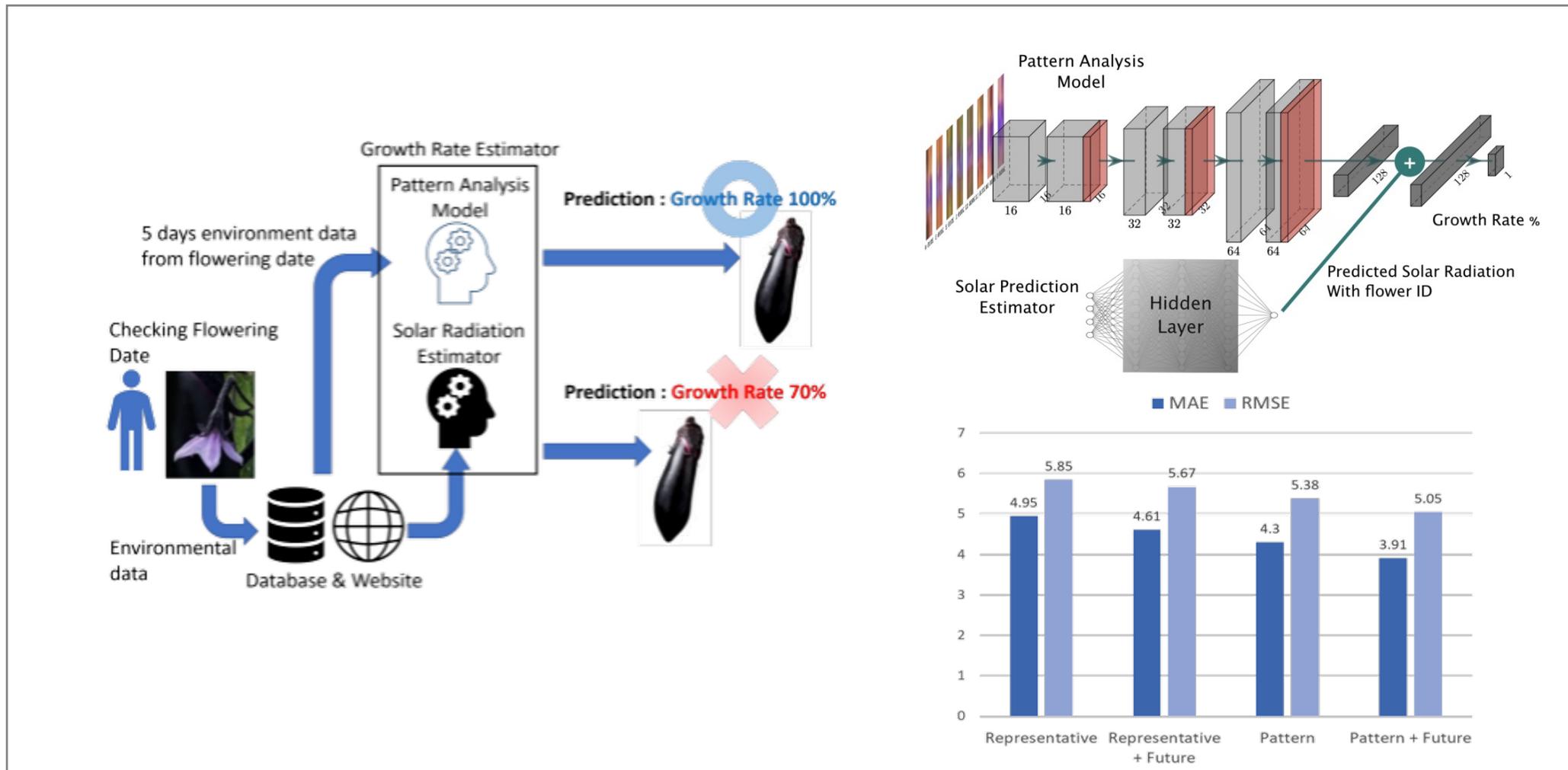
### 例2) 葉面積の算出



各葉を分離し、  
葉面積の数値化が可能



取得したパラメータと環境データを掛け合わせることで篤農家に劣らない収穫量予測を実現



JongMoon Choi and Noboru Koshizuka: "Optimal Harvest Date Prediction by Integrating Past and Future Feature Variables", IEEE CSDE 2019.

一次産業や食に関連する現場に特化して  
最先端のデータサイエンス技術を社会実装する  
東京大学発AIスタートアップです

会社名	株式会社きゅうりトマトなすび (CTE, Inc)
設立	2023年7月
代表者	代表取締役 佐々木佑介
拠点	東京都文京区本郷
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>一次産業に関連するソフトウェア開発</li><li>一次産業に関連する研究開発</li><li>一次産業に関連するコンサルティング</li></ul>



### Mission

**デジタルの力で  
持続可能な  
一次産業の未来をつくる**

### Vision

**スマート一次産業のフロントランナーとして、  
未来の一次産業のあるべき姿をデザインし、  
エンジニアリングによって実現する**



## データサイエンスおよびエンジニアリングを得意とするメンバーがアカデミアと連携しながら開発を推進



代表取締役 Founder  
佐々木 佑介

東京大学大学院修士課程修了、同博士課程。スマート農業におけるセンシング技術や生育診断解析について研究。卓上型スマート農業キットや移動型太陽光発電パネルなどを開発し、TodayToTexas採択。IEEE論文多数。kaggle Expert(銀×2, 銅×2) 株式会社JDSCにてデータサイエンティストとして営農型太陽光発電プロジェクト等の責任者を経て、現在。



取締役 Co-Founder  
石塚 達也

東京大学大学院修士課程修了、同博士課程。スマート農業におけるセンシングによる計測や解析による収穫予測等について研究。kaggle Expert(銀×1, 銅×2) 日本アイ・ビー・エム株式会社にてシステムエンジニアとして勤務したのち、自動運転スタートアップの株式会社ティアフォーにて機械学習モデルの論文実装や組み込みシステム開発などに従事を経て、現在。



取締役 Co-Founder  
松井 誠泰

東京大学大学院修士課程修了、同博士課程。SQL群の型・スキーマ・依存関係制御自動化を行うalphaSQLを開発しOSSとして公開。Google Cloud・OSS Summit 登壇。OSSへのコントリビューション経験多数。IEEE論文多数。kaggle Expert(銅×2) 株式会社JDSCにてエンジニア、トレジャーデータ株式会社にて機械学習エンジニアを経て、現在。



# AIを活用した自社プロダクトを開発しサービスを展開中

## デジタルツイン農業



デジタルツインとは、現実世界のさまざまなデータを収集してそのコピーをコンピュータ空間上に再現する技術のことです。  
私たちは農業現場の形質そのものを3Dモデルとして取得し、解析する技術の開発・研究を行っています。

活用技術：画像認識AI, 3D点群解析AI ほか



## 農業特化型LLM



LLM（大規模言語モデル）をはじめとする生成AIは、ChatGPTをはじめとした生成AIブームで話題を呼んでいます。  
私たちは日本の農業に特化したLLMモデルを開発し、主にJA・自治体・研究機関様向けに提供しています。

活用技術：LLM(生成AI) ほか



## お問い合わせ先



**info@cte-agri.com**



**https://www.cte-agri.com**

※本資料の無断での転載、複製、転用等を禁じます